



令和3年8月27日（金）発行

学校だより No.7

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》
○ 向学 ……自ら学ぶ生徒
○ 礼節 ……思いやりのある生徒
○ 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を育てる教育活動の推進～」

吉田松陰の言葉に学ぶ（2学期始業式の校長の話より）

35日間の夏休みが終わり、1年間の充実期となる2学期がスタートしました。始業式は、新型コロナ感染予防のため職員室より各クラスにオンラインによるテレビ放映で行いましたが、各学年とも落ち着いて話を聞くことができ、夏休みモードから学校モードに気持ち切り替わっている様子が伺え感心しました。

保護者の皆様には、夏休み中の学習の充実や安全・健康についてご協力をいただきまして大変ありがとうございました。また、長期休業開けでお子さんが学校生活への不安や悩み等を抱えやすい時期です。心配ごと等がありましたら、遠慮無く学校にご連絡ください。（始業式での校長の話より）

2学期のスタートにあたり、幕末に活躍した武士であり教育者だった吉田松陰の有名な言葉を紹介します。それは、「夢なき者に理想なし→理想なき者に計画なし→計画なき者に実行なし→実行なき者に成功なし→故に夢なき者に成功なし」という言葉です。この言葉を聞くと、「まだ将来の夢が決まってないから成功できないのかな」と思ってしまう人がいるかもしれませんが、「夢」を「目標」に置き換えて2学期の生活を考えると意味が分かりやすくなると思います。

つまり、長い2学期を充実させるためには、3つの気を更に伸ばすための目標をしっかりと定め、その目標を達成するための理想の姿を描き、それに近付くための計画をしっかりと立て、その計画に沿って着実に実行し成果に繋げていくことが大切だということです。期間が長い2学期は、ややもすると目標を見失い中だるみになることがあります。そんな時、目標と理想、そして計画がしっかりと定まっていれば、それを再確認して気持ちを引き締め直すことができます。

そして、吉田松陰の言葉の一つ付け足すとしたら、「実行し反省なき者に成功なし」です。長い2学期だからこそ定期的に自分の取組を振り返り、上手くいっていることと改善が必要なことを自覚し、その後の取組の改善に繋げていくことで目標達成に大きく近付くことができます。長い2学期を充実させ、終業式の日「自分の力が伸びた」と思える2学期にしていきたいと思います。

県総体・県吹奏楽コンクールで健闘！！

県総体に沼田市の代表として、テニス男子個人の鈴木くん・茂木くんペアと松永くん・佐々木くんペア、卓球男子個人（シングルス・ダブルス）の片岡くん・富澤くん、水泳女子100m・200m背泳ぎの大堀さん、陸上男子800mの田村くんが出場しました。

また、吹奏楽部が中部地区吹奏楽コンクールで見事に金賞を受賞し、中部地区の代表として県吹奏楽コンクールに出場し銀賞を受賞しました。

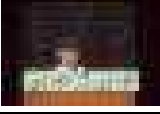
真夏の暑い中、代表として最後まで全力を尽くし素晴らしい試合・演奏をすることができました。県大会に出場し全力を尽くしたことは、今後の大きな成長に繋がる貴重な体験になったと思います。そして、県大会で全力を尽くした姿は、沼田西中の誇りです。

中学生らしい視点で自分の主張を発表<校内少年の主張大会より>

1学期末の7月15日(木)に校内少年の主張大会が開催されました。各クラス2名ずつの代表が、それぞれの主張を堂々と発表していました。主張の内容は、**環境や平和問題、コロナウイルスに関する事、個性の大切さ**など様々なテーマについて、中学生らしい純粋で前向きな視点で提案性のある内容を全校生徒に伝えることができました。

また、聞いている生徒達も真剣に耳を傾け、発表者が発表しやすい雰囲気をつくってくれました。それは、聞いている生徒が発表する生徒を支えていた姿でした。校内少年の主張大会を通して、支え愛が深まりました。また、発表者の提案を一人一人の生き方や生活の改善等に繋げてほしいと思います。

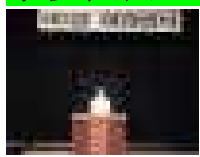
各クラス発表者の紹介(発表順・敬称略)

 1年2組 綿貫ひまり 「平和な世界になることを願って」	 1年2組 笛木 一心 「コロナウイルス」
 1年1組 下飯 尊生 「ゴミ箱のある意味」	 1年1組 只野 栞稟 「優しさ」
 2年2組 富澤 優介 「時間の大切さ」	 2年2組 金子 季枝 「身近」
 2年1組 小野里凜子 「本当のヒーローとは」	 2年1組 平井音乃楓 「私の夢」
 3年2組 鈴木 傑琉 「違い」	 3年1組 小林 美結 「自分らしさ」
 3年1組 島田倫太郎 「沖縄戦争の意味」	 3年2組 長岡 草大 「努力の大切さ」

※最優秀賞：3年1組 島田倫太郎くん



学校代表として自分の主張を堂々と発表<利根沼田少年の主張大会より>



8月21日(土)に川場村文化会館において利根沼田少年の主張大会が開催されました。本校からは、校内少年の主張大会で最優秀賞を受賞した3年生の島田倫太郎くんが学校代表として出場しました。校内大会で発表した「沖縄戦争の意味」を更に手を加え、戦争を二度と起こさないために自分たちが戦争の悲惨さをよく理解し、それを後世に語り継いでいく大切さについて発表してくれました。

各校の代表が集まり大変緊張する中、夏休み中に練習した成果を十分に発揮し堂々と発表することができました。

《コラム～校長室より・校長の独り言～》

始業式後の掃除の時間、職員室担当の生徒が校長室の消毒と掃き掃除をしてくれました。以前のコラムで記載したとおり、ほんの数分の会話を楽しみながら掃除の様子を見てみると、椅子の下まで手を伸ばして掃き掃除をしてくれ校長室の隅々まできれいにしてくれました。消毒と掃き掃除で校長室と私の心まできれいにしてくれ、2学期が気持ちよくスタートすることができました。

